

平成16年10月1日

## 平成16年度病害虫発生予察注意報第2号の発令について

病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病害虫名：シルバーリーフコナジラミ

作物名：ナス、ピーマン・シシトウ、トマト（施設栽培）

9月4～5半旬に実施した巡回調査では、定植期の早い県東部の促成ナスで平年の8倍、ピーマンでは3倍程度の発生面積となっており、ハウス内の発生密度も高い状態です。また、他地域を含め施設果菜類全般についても、聞き取り調査などでは育苗から定植期にかけ購入苗を中心に発生が目立っており、向こう一ヶ月の気象予報では気温は高いと予想されていることから、今後も密度の上昇が続くものと思われます。

ピーマン・シシトウでは本虫の寄生による果実の白化（退色化）症状が見られる場合があります。さらに発生が続くと果実の品質低下の恐れがあります。また、トマトでは本虫が媒介する黄化葉巻病（TYLCV）の発生が県中央～西部の海岸平坦地帯で確認されており、今後、発生の拡大が懸念されています。

防除対策としては育苗期からの薬剤防除などにより、苗からの本圃への持込を防ぐとともに、定植時の粒剤処理など低密度時からの防除を徹底する必要があります。特に購入苗については定植前に発生の有無に十分注意しましょう。さらに施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆、ほ場周辺の除草（播種、定植前から実施）、可能な作物での近紫外線カットフィルムの利用などハウスへの成虫の侵入防止に努めてください。

なお、薬剤防除については各地域の農業振興センター、JAなどの指導に基づき、農薬使用基準を遵守するとともに、薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用は避けてください。



シルバーリーフコナジラミ成虫



トマト黄化葉巻病



ピーマン果実の白化症状